母校早大が記念文庫

米国で「日本学」確立

角田柳作の生涯に光

教え子・キーン氏ら講演

収蔵資料も展示

あすシンポ

角田柳作

米国で日本学の基礎を築いた本県出身の角田柳作（一八七七―一九六四年）＝写真＝が愛用した書物や資料を収蔵する記念文庫が、早稲田大中央図書館に開設された。コロンビア大での日本文化研究所設立や研究者育成などの功績を支えた約千五百点を展示している。早大は十一月三十日まで、文庫の一部や著書、写真を紹介。十月三十日のシンポジウムでは、教え子のドナルド・キーン氏らの講演やパネルディスカッションを通じ、角田の生涯と功績をたどる。

著書や写真を紹介している「角田柳作展」

豆字典　角田柳作　勢多郡津久田村（現渋川市赤城町）の農家の二男として生まれた。群馬県尋常中（現前橋高）を中退後、東京専門学校（現早大）に進学。福島中、仙台第一中で教えた後、51歳で米コロンビア大に日本文化研究所を創設し、日本学を教えた。日本文化研究で有名なドナルド・キーンらの学者を育て、米国に日本の文化、思想、信仰などを伝え、半世紀にわたり日米の懸け橋として活躍した。

角田は新聞社勤務を経て大学教授を務め、ハワイでの教員生活を経て米国本土に移り、生涯のほとんどを米国で過ごした。人材育成と資料収集に力を注ぎ、学生からも「センセイ」と親しまれた。

角田の死後、日米両国で大学紛争が発生、早大とコロンビア大の交流が途切れてしまった。これを案じた元コロンビア大図書館司書の甲斐美和さんが、角田の蔵書を早大に少しずつ送り続けた。蔵書は年々増え、文庫設置のきっかけとなった。

文庫は図書館地下に開設。角田が授業を行う際の参考にしたとみられる伝記や歴史書など最後まで手元に残していた私物を紹介。書き込みが残る貴重な書物もある。早大の総合学術情報センターで十一月三十日まで、文庫の一部を展示している。

一方、大隈記念タワー125記念室では、同日まで「角田柳作展」を開催。コロンビア大での講義録をまとめた日本学の基礎的教科書「日本の伝統の源泉」や、コロンビア大の名誉学位記、太平洋戦争中に「敵性外国人」として逮捕された際の仮釈放文書など約百二十点を紹介している。本県で過ごした幼少時代の写真や直筆の手紙もあり、角田の息遣いが伝わる。

シンポジウムでは角田の生涯を通して、功績の意義の国際親善のあり方を考える。キーン氏や大学教授が講演するほか、パネルディスカッションでは「角田柳作が語りかけるもの」をテーマに、キーン氏や親せき筋の角田悠さんら四人が「センセイ」について語り合う。

記念文庫の目録はインターネットで公開されている。問い合わせは早大図書館特別資料室（☎03・5286・1651）へ。

甲冑の350人 合戦を再現

高崎・箕輪城まつり

国指定史跡・箕輪城の歴史を郷土の歴史をまちづくりに役立てようと、二〇〇三年に始まった、大河ドラマの影響もあって、今年は大勢の見物客でにぎわった。

手作りの甲冑や羽織、忍装束をまとった住民が、市宜郷支所から城跡までの約二・五キロを練り歩いた。

鎮魂祭での神事の後、箕輪城軍と武田軍の戦が始まった。模擬大砲の煙が立ち込める中、両軍は互いにやりを突き合い、迫力ある戦いを繰り広げた。

酒飲んで事故 4人がけが

館林署が会社員逮捕

館林署は二十七日、自動車運転過失傷害の現行犯で、館林市足次町、会社員、坂田誠容疑者（32）を逮捕した。

館林署によると、坂田容疑者は同日午後十時二十分ごろ、酒を飲んで自用車を運転、同市広内町の県道海老瀬林線で対向車線にはみ出し、玉村町の女性事務員（24）の軽乗用車と衝突、女性と同乗の男性（24）に打撲などの軽傷を負わせた。女性の車には、板倉町の男性会社員（37）の軽乗用車が追突、同乗していた男子高校生（17）とともに軽傷を負った。

同署は過失運転致傷の疑いも視野に入れ、坂田容疑者（32）を逮捕した。

人がけが 拒否の男逮捕

前橋・藤岡署

藤岡署は二十八日、道交法違反（飲酒運転）の現行犯で、藤岡市小林、無職、高桑和広容疑者（30）を逮捕した。

調べによると、高桑容疑者は二十七日午後一時五十五分ごろ、同市中里線の市道で、酒を飲んで軽乗用車を運転、パトロール中の同署員に呼気検査を求められたが拒否した。

高桑容疑者は飲酒運転を認めているという。

調べによると、坂容疑者は同日午後十時二十分ごろ、酒を飲んで自用車を運転、同市広内町の県道海老瀬林線で対向車線にはみ出し、玉村町の女性事務員（24）の軽乗用車と衝突、女性と同乗の男性（24）に打撲などの軽傷を負わせた。女性の車には、板倉町の男性会社員（37）の軽乗用車が追突、同乗していた男子高校生（17）とともに軽傷を負った。

同署は過失運転致傷の疑いも視野に入れ、坂容疑者（32）を逮捕した。

台風一過 ぽかぽか陽気

28日の県内

県内は二十八日、全域で晴れ、台風が運んできた暖かい空気がとどまった影響で気温が上がった。館林では最高気温が平年を五度近く上回る二十四度を観測、各地で暖かい一日となった。

前橋地方気象台によると、各地の最高気温は伊勢崎・三十五度、前橋・三十四度など、最も低かったのは草津でも一五・七度で平年より四・二度高かった。

太田 電柱広告に防犯標語

関係6団体 暴力追放など啓発

太田市防犯協会や同市暴力追放推進協議会などは、東武太田駅から南に延びる南一番街一帯に、子供の安全確保や環境浄化を呼び掛ける電柱広告を設置した。

設置したのは「暴力追放」「子供の安全」「風俗環境浄化啓発」に関する広告計二十八枚。暴力追放では、「暴力団 街から追い出せ はじきだせ」など三種類の標語を掲げた。

暴力団追放と風俗環境浄化を訴える広告は繁華街に、中央小学校や九合小学校近くには「こども たちを守ろう 安全・安心」と呼び掛ける広告を掲げ、安全を訴えた。

電柱広告で犯罪抑止を訴えるのは県内初の試み。市防犯協会や市暴追協など関係団体が計約八十万円を出資した。

同署は電柱広告が「精神的な抑止力」になることを期待しており、八木寛治署長は「広告の設置協（環境浄化や暴力団追放の啓発）になれば」と話している。

電柱広告を視察する太田署員や関係団体

香典返しを世の中のために役立てる方法があります。

「夢の貯金箱」へ皆様のご寄付をお願いします。03-6229-5111

日本財団 The Nippon Foundation

群馬県公立高校入試まで

133日

ワセダなら合格させます。

早稲田セミナー 0120-017-894

台風9号に学ぶ～高めよう地域防災力～

防災・減災フォーラム 2007 in 群馬

参加者募集

参加無料・先着300名

11/16（金）開場13:00 開会13:30 閉会16:30

高崎シティギャラリー コアホール

高崎市高松町35番地1

山間地の多い日本の河川のほとんどは、傾斜がきつく、絶えず水害の危険にさらされています。先日襲来した台風9号は、関東地方を直撃しました。県内では、床上・床下合わせて306棟が浸水、自主避難、避難勧告は最大時で614世帯、1,844人にのぼる被害が発生するなど、県内各地で大きなつめあとを残しました。（10月3日9時現在 群馬県消防防災課調べ）

そこで「防災・減災フォーラム」で今回の台風を検証し、地域や家庭の防災対策を再点検し、皆さんと一緒に安全で安心な地域づくりを考えていきたいと思います。

●基調講演

「群馬県の気象災害 ～台風被害と防災の歴史～」

田代 大輔（気象予報士）

●パネルディスカッション

「台風9号に学ぶ ～高めよう地域防災力～」

パネリスト　田代 大輔（気象予報士）
座間 愛知（高崎市副市長）
清水 義彦（群馬大学准教授）
前佛 和秀（国土交通省高崎河川国道事務所長）
コーディネーター　小林 忍（上毛新聞社論説委員長）

※敬称略・順不同

ハガキ、FAX、またはメールでお申し込みください。

参加希望の方は、郵便番号、住所（参加証送付先）、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、またはメールを利用してお申し込みください。　締め切り／11月9日（金）必着

●お申し込み先
上毛新聞社広告局
「防災・減災フォーラム in 群馬」係
お問い合わせ
TEL.027-254-9944（土日祝を除く10:00～17:00）

ハガキ　〒371-8666 群馬県前橋市古市町1-50-21
FAX　027-254-9904（24時間受付）
メール　sanka@raijin.com

※定員（300名）になり次第、締切らせていただきます。
※参加者には折り返し、「参加証」をお送りいたします。当日は受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場いただきます。
※応募者の個人情報は、「参加証」の発送など、当フォーラムの運営にのみ使用します。

■主催　国土交通省高崎河川国道事務所　■共催　上毛新聞社、全国地方新聞社連合会
■後援　群馬県、高崎市、（社）土木学会、日本災害情報学会、共同通信社、NHK前橋放送局、群馬テレビ

お知らせ　今年は、昭和22年のカスリーン台風の被害から60年目にあたります。来る11月23日に笹川記念会館国際ホール（東京都港区）で「利根川サミット」の開催を予定しています。お問い合わせは、「利根川サミット」事務局へお願いします。

「利根川サミット」事務局　TEL.03-5733-5169　http://www.ktr.mlit.go.jp/
〒105-0004 東京都港区新橋5-20-4　受付時間（月～金）10:00～17:00

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。